

第12 選択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（一般）】

書名 項目	<b>中学音楽 音楽のおくりもの</b>	17 教 出
内容	〈生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか〉	
	○「必要感」 ・学びたくなるめあての掲示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫	・表紙には、教科書に掲載されている歌唱教材の歌詞がモチーフとなったイラストが描かれている。巻頭ページでは音楽家による「音楽はメッセージ」が大きな写真とともに掲載されている。 ・教材名の下に、めあてを達成するための具体的な学習活動が示されている。 ・「学習 MAP」で、年間の学習内容の各分野の関連が示されている。
	○「思考の深まり」 ・生徒自身の思考を広げ深める工夫 ・学び合いの視点	・創作「音のスケッチ」では、活動の手順が示されていて、「まなびリンク」から範奏の音源を視聴できるようになっていたり、音楽を形づくっている要素について、「学習の進め方」と「どんな特徴があるかな？」に整理して示されたりしており、生徒の思考を広げる工夫がされている ・「比べてみよう」は、楽曲を比べることで曲想や曲のつくり等の違いについて気づき、学習を深めることができる工夫がされている。 ・「Active!」では自分の考えを記録し、「話し合おう」では伝え合うことができる工夫がされている。
	○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度に繋がる工夫	・「Let's Try!」では、指揮の説明があり、段階を追って指揮法が習得できるよう工夫されている。 ・「故郷」を同声二部、混声三部、四部と発達段階に応じて全校合唱ができるよう工夫されている。 ・歌唱教材では「Sing! Sing!」で歌うためのワンポイントアドバイスが実態に応じて、発展的に学べるように掲載されている。 ・「劇場・音楽堂へ行こう!」や「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」、SDGs と音楽の関わりでは、音楽を通じた教育活動が示され、生徒が生活を豊かにする態度に繋がる内容が掲載されている。また、ポピュラー音楽図鑑ではジャズやブルース等幅広い音楽に親しめるような教材が掲載されている。
	〈教科等横断的な視点を取り入れた工夫がなされているか〉	
○「教科横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点	・「日本の歌みんなの歌」に作曲者・作詞者の紹介やメッセージが詳しく書かれており、作曲当時の様子を知るための説明がされている。 ・鑑賞教材で、日本の時代や音楽史の流れを確認することができるようになっている。 ・合唱曲「旅立ちの日に」では道徳と関連を図ることができる工夫がされている。	
その他	〈資料の構成・配列や表記・表現〉 ○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・「日本の歌みんなの歌」では鮮やかな写真が掲載されており、情景を思い浮かべられるような工夫がされている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・二次元コードの学びリンクにより、主体的に、個別の学びを実現する工夫がある。	

第12 選択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【音楽（一般）】

書名 項目	中学生の音楽		27 教 芸
内容	〈生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか〉		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての掲示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙には中学生が音楽を楽しむ様子のイラストが描かれている。イラストが続き絵になっており、3年間の学習がつながり、深まるよう工夫がされている。</li> <li>・生徒に考えさせたいポイントについて、「問いかけ」が楽曲ごとに示され、課題意識をもつことができる工夫がされている。</li> <li>・「My Voice」では発達の段階に応じた歌い方が紹介されている。また民謡・長唄で絵譜を使って発声の特徴が示されている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「My Melody」や「Let's Create!」では、創作ツールを用いて創作の手順が順を追って示され、作った旋律を再生することができるようになっており、自分の思いや意図を作品に反映できているか確認できるような工夫がされている。</li> <li>・「学びのコンパス」では、具体的な説明や学びの手順がワークシートに示され、生徒が課題解決に向けた見通しを立て、学習の流れが把握できるよう工夫されている。</li> <li>・対話的な学びができるよう生徒どうしや指導者との対話を促すようなキャラクターの問いかけが掲載されている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度に繋がる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指揮をしてみよう」では表現の基礎的な技能の習得や創意工夫して音楽表現するための手立てが示され、音楽の特徴に応じて習得できるよう工夫されている。</li> <li>・「深めよう!」では、音楽的な見方・考え方を働かせてまとめができるように工夫されている。</li> <li>・1年間で学ぶ学習内容が、わかるように示されている。</li> <li>・「生活や社会の中の音や音楽」では、音楽の役割、仕事と音楽等を写真で示し、生活の中にある様々な音楽や音への関心を促す工夫がされている。SDGs との関わりに触れるなどして、段階的に音や音楽をより身近なものとして捉えられるような工夫がされている。</li> </ul>	
	〈教科等横断的な視点を取り入れた工夫がなされているか〉		
その他	<p>○「教科横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞教材「プラスαこの頃日本では」や、心の歌「夏の思い出」「花」等では、社会科の学習を関連させる工夫がされている。</li> <li>・「ルールを守って音楽を楽しもう!」は、著作者を尊重しルールを守って音楽に親しもうとする気持ちを醸成する内容となっている。</li> <li>・二次元コードを読み取ることで、適宜、学習理解を助けるコンテンツの閲覧や視聴ができるように工夫されている。</li> </ul>	
	<p>〈資料の構成・配列や表記・表現〉</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭には有名人の中学校時代のエピソードがあり、挑戦することの大切さを語りかけている部分が掲載されている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「My Voice」では1「自分の歌声を見つけよう」2.3上「自分の思いを歌声にのせよう」2.3下「豊かな歌声で気持ちをこめて歌おう」となり、発達段階に応じた発声方法の工夫が見られる。</li> </ul>		